

ひと・夢・まち 町長コラム

友達の長所を知ってますか？（令和元年10月号） （西郷どんの教え vol.5）

この教えの本文は、「人材の登用」についての教えです。

「学校やクラスの役割を決めるときは、その人、それぞれの良いところ、つまり長所を生かした決め方をしたほうが良い。皆をまとめることが得意な人や、一つのことをコツコツと粘り強くやれる人もいる。どちらが上でも下でもない。その長所を見つけ生かす決め方をするように心がけることが大切である」としています。

西郷さんは、小人とか君子とか細かく厳格に区別することは害があるといっています。それにこだわって無理やり区分し、人材を差別するのはおかしいといっています。大古より世の中の十中七、八は普通の人であり、皆それぞれ長所を持っているので、その長所を採って適材適所の職につけその才能を発揮させるがよいといっています。

人は何らかの役を与えられ生きているものだと思います。一人ではできないことでも皆が集まれば強い力となって未来を切り開けると私は確信しています。